

第30回大森地区実践勉強会

実施レポート

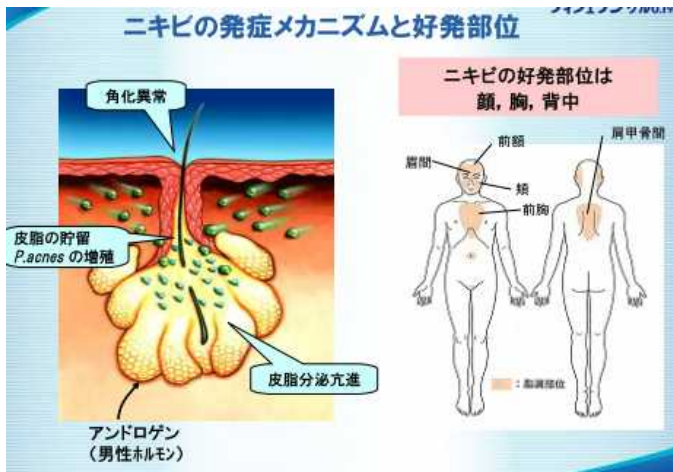
保険学部 田中 敏郎 佐川 雅夫 中畔 勇一

第30回実践勉強会 3月9日実施 テーマ 尋常性ざそう(にきび)について

参加者

美原薬局 田中 サガワ薬局 佐川・清水 ひろみ薬局 宮田・橋本・芳田・松村
アサヒ薬局 大高・中畔・飯塚 にしかわ薬局 新木 コーコク薬局 松原
秋嶋薬局 秋嶋 みのる薬局 押切

尋常性ざそう(にきび)と治療についてト塩野義 興津さんから説明していただいた。

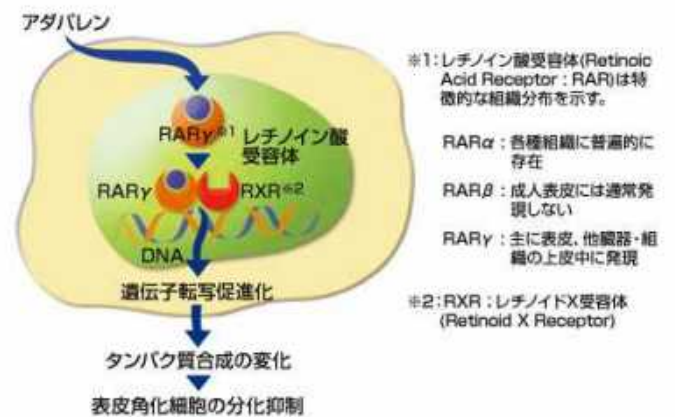


男性ホルモンにより皮脂腺が活性化され皮脂分泌が亢進し毛包漏斗部の角化が亢進し毛包内に皮脂が貯留しアクネ菌が増殖し微小面皰(にきびの前段階)が出来る。そこから非炎症性皮疹の閉鎖面皰(白にきび)・開放面皰(黒にきび)、炎症性皮疹の紅色丘疹(赤ニキビ)・膿疱と進行する。海外では中等症のざそうまでは外用レチノイドが第一選択される。アダパレン(ディフェリンゲル)は日本初のレチノイド様作用を有する外用剤。

アダパレンについて

アダパレンは、表皮角化細胞の分化を抑制することで、面皰の形成を抑制し、非炎症性皮疹と炎症性皮疹を減少させる。アダパレンの特徴として約80%と高頻度の副作用発現率が挙げられる。主なものとして皮膚乾燥・皮膚不快感・皮膚剥脱・紅斑・かゆみ等。最初の2週間に発現しその後の発現率は低下する。これらの症状はアダパレンの、古く固着した角層の剥離の促進に起因し、効果の現れと考えられ高頻度で発現する。

アダパレンはレチノイン酸受容体^{※1}(RAR γ)に結合し、遺伝子転写促進化を誘導することによりレチノイド様作用を示す。ディフェリン[®]の局所投与により、表皮角化細胞の分化が抑制され、非炎症性皮疹と炎症性皮疹が減少することが考えられる。



ディフェリンの作用と副作用を理解するために			
	塗布開始	塗布～2週	塗布～12週
毛包漏斗部の状態 (イメージ図)			
ディフェリン®の 主作用	顆粒細胞から角質細胞への分化を抑制する。	古く固着した角層の剥離を促進する。	毛包漏斗部の角層を除去し皮脂の排出を促す。
ディフェリン®の 副作用		顆粒細胞から角質細胞への分化を抑制することで、乾燥、不快感、落屑などが生じる	皮膚刺激は軽度で悪化しない。

初期における副作用による使用・治療中止を避けるために

使用量や使用頻度の確認

- ・局所への大量塗布の確認
- ・1日2回など誤った使用法の確認

保湿剤(低刺激性でノコトジエック)の使用の推奨

少量の塗布, 額などの限局した部位への塗布

- ・慣れてきたら塗布範囲を広げる

使用頻度を減らす(1回/2日又はそれ以下)

の頻度)・慣れてきたら1回/日に戻す 短期間ディフェリンの使用を中止 数日間, 保湿剤の使用で様子を観察 などの指導が必要。その他に「乾燥・不快感・赤みは薬が効き始めた証拠です。だんだん軽くなります。少し辛くても頑張って使っていきましょう。3ヶ月後にはきっと見違えるようになりますよ。」などのモチベーションを維持させる言葉がけも必要。

尋常性ざそう治療ガイドラインにおいて面皰から膿疱(重症)までアダパレンは推奨度A(行うよう強く推奨する)。また推奨度の高い内服・外用抗菌剤と併用により治療期間を短縮できる。アダパレンは外用クリンダマイシンの皮膚透過性を高める作用を有し特に相性が良い。

使い方

1日1回洗顔後に(通常夜)ニキビとその周囲に適量を塗布。

保湿し外用抗菌剤と併用する場合「塗布する面積広い順から」によって保湿剤 ディフェリンゲル 外用抗菌剤の順番で。



Q&A

Q1: 病院の処方元の先生から詳細にディフェリンの服薬指導を受けていると思っていたので、薬剤師からの説明は簡易でもいいと考えていました。しかし、本日の内容を聞くと、重複するとわかっているにもかかわらず服薬指導は詳細にすべきでしょうか?

A1 皮膚科外来であまりにも忙しいため、十分な説明をされていないケースもありうると思います。重複するケースもあると思いますが、初回の来院時には是非、薬剤師の先生からの詳細な指導をお願い致します。インターネットの調査で、ディフェリンの治療脱落例について調べたところ、最初に十分な説明を受けた患者様では、中止例が少ないことが示されています。初回受診時の説明が非常に重要だということが、わかっていますので、積極的な服薬指導をお願い致します。

Q2: ディフェリンを使用している患者さまに日焼け止めを勧めてもいいのでしょうか?

また、こういった種類の日焼け止めを進めれば良いのでしょうか?

A2 どのような種類の日焼け止めが適当かは検討致しておりませんが、にきびの予防という観点からは毛穴を塞ぐおそれがあるクリームタイプ等の日焼け止めの日常的かつ積極的な使用はあまりお勧めできません。女性用化粧品に備わっている日焼け止め効果においては特に問題にはならないと考えております。

以上です。

次回は5月11日 禁煙について です。場所は文化の森になります。